

## 総合型地域スポーツクラブ

# 長野スポーツコミュニティークラブ東北(NSCT)の活動について

## 1 長野スポーツコミュニティークラブ東北の設立までの経緯及び概要 (H17.4月改定)

### (1) そもそもスポーツとは

スポーツは、われわれ人間の「こころ」と「からだ」の健全な発達を促すとともに、明るく豊かで活力に満ちた、生き甲斐のある社会の形成に寄与する人類共通のすばらしい文化の一つであるということ。

### (2) 生涯スポーツとは

それぞれの生涯を、体力や年齢更には目的に応じて、いつでも、どこでも、だれでもが主体的に活動できるスポーツを目指すことである。この生涯スポーツ社会の実現は我が国をはじめとし、多くの国々の重要な政策課題にもなっている。

### (3) 現状は(日本、長野県)

そんな中で、現状はどうなっているかという点

①週1回スポーツを実践している人→日本人34.7% 長野県32.7%

②日本のスポーツの特徴である、企業や学校依存型のスポーツクラブ

③現スポーツクラブの閉鎖性や囲い込み

(性別・年齢・競技レベル・種目・目的等が限定的)

④少子化に伴う学校運動部活動の競技種目の減少と指導者の高齢化

⑤非専門家による指導体勢

⑥青少年の体力の低下や青少年健全育成の必要性(完全学校週5日制の導入)

⑦高齢化社会に向けて、健康の維持管理及び増進の重要性

(終身雇用制の見直し)

以上のような問題点や課題が出てきている。

### (4) 地域スポーツクラブの重要性

このような状況の中で、地域に根ざしたスポーツクラブの重要性が高まってきている。

今までのような単一種目で拠点なしのスポーツクラブではなく、仲間、施設、プログラム、指導者などが有機的に結合して定期的・継続的な活動が必要になってきている。

①スポーツに対する潜在的なニーズを実際の行動に結びつけ、継続的なスポーツ活動が継続されること

②地域住民の活動を核とした地域スポーツクラブであること

### ★スポーツ振興基本計画(文部科学省、12.9)

『総合型地域スポーツクラブ』の育成・定着

具体目標:「週1回以上のスポーツ実践者を21世紀の遅くない時期に50%」

:2010年までに、全国(約3,300)の市町村に少なくとも一つ

は「総合型地域スポーツクラブ」を育成する

目的:スポーツに親しみやすい豊かなコミュニティーづくり

○生涯スポーツの振興(一人一人の生き甲斐づくり)

子供から高齢者、障害者、すべて

○地域住民の健康・体力の維持増進

○世代間交流(異年齢交流)、様々な特徴をもつ人との交流

○地域住民の連帯感意識の高揚

○地域の教育力の向上

○少子化・高齢化社会への対応

### (5) 長野スポーツコミュニティークラブ東北の設立(通称:長野スポコミ東北、NSCT)

上記のようなことから、長野市長沼地区で、日本体育協会の総合型地域スポーツクラブ育成事業“ファミリースポーツクラブの育成”に申請し、認可を受ける。

- ①期間（指定年度）：平成12年度～14年度
- ②地区：長野県長野市東北中学校区
- ③代表者：今井良夫（長野市スポーツ少年団本部長）
- ④委託金予算額：1,050,000円（1年間）×3年間
- ・平成12年7月スポーツコミュニティークラブ東北育成協議会（通称：長野スポコミ東北・NSCT）を設立し、活動を開始する。
  - \*キーワード：「いつでも、どこでも、だれでも、いつまでも」
  - 「多種目、多世代、多志向」
- ・県や市の行政団体主導の組織ではなく、文字通り地域に根ざした、地域住民の手による、地域住民のための豊かなスポーツライフ実現のための取り組みである。
- ・長野市東北中学校区（長沼、古里、柳原地区）から長野県全体に向けて、最も新しいスポーツクラブのあり方を発信していきたいと考えている。

## 2 長野スポーツコミュニティークラブ東北の組織について

\*別紙長野スポコミ東北組織図参照

## 3 1年次の活動実績について

- (1) 育成担当者会議（第1回～第18回）、育成協議会の開催（第1回～第5回）。
  - ①組織づくり
    - ②事業計画の作成
    - ③収支予算案の作成 など
- (2) 総合型地域スポーツクラブについての説明会の開催
  - 第1回：長野県教育委員会体育課より松崎指導主事を招いての講演会
  - 第2回：既存のスポーツクラブ代表者に参加を呼びかける
- (3) 先進指定地域への視察：平成12年9月12日
  - ・静岡県袋井市（日本体育協会指定、平成10年度～12年度）へ長野スポコミ東北育成協議会委員4名で視察
- (4) 総合型地域スポーツクラブ育成研修会の開催：平成13年3月26日
  - ・大阪教育大学助教授 赤松喜久先生（日本体育協会中央研究主任班員）を招いての講演会
- (5) 定期的なスポーツ活動
  - バスケットボール（男女）での異世代間の交流を主なねらいに定期活動をスタートさせる。
    - ・平成12年8月より毎週木曜日の夜、19:00～21:00までの2時間の活動。
    - ・場所は東北中学校千曲体育館（バスケットコート2面）でゲームを中心に行う。
    - ・中学生が主ではあったが、小学生から一般の大人の方まで、常時20名～40名の参加者があった。その中には、東北中学校区外からの参加者や聾学校生（中学生）の参加者もあり、手話を覚えようとするなど参加者の心の成長をみることもできた。
- (6) イベントの企画、開催
  - 第1回東北スポーツウィーク：平成12年10月9日（日）～10月15日（日）
    - 実施種目→バレーボール男女、バスケットボール男女、卓球男女、ソフトテニス男女、バドミントン男女、剣道男女、ウォークラリー
    - 参加者総数→435名（小学生～一般）
    - ・各種目において、ふれあい活動の他に講師を招いてスポーツ教室を開催する。
    - ・東北中学校運動部顧問の先生方に指導者の一人として協力していただいた。
    - ・卓球とバドミントンにおいては、既存のクラブと連携して開催することができた。
    - ・ウォークラリーについては、東北中学校区内にある長野県障害者福祉施設の事

業とタイアップし開催することができた。

- 第2回東北スポーツウィーク：平成13年2月11日（日）～2月18日（日）  
実施種目→バレーボール男女、バスケットボール男女、卓球男女、ソフト  
テニス男女、バドミントン男女、剣道男女、野球男女、サッカー男女、  
ニュースポーツ（キボール、ガチャ、スマイルボール、カーリングなど）、  
ストレッチ・マッサージ教室  
参加者総数→355名（小学生～一般）
- ・2月の寒い時期での開催で、参加者の総数は減ってしまったが、ニュースポーツやストレッチ・マッサージ教室への関心は高く、高齢者や家族での参加者が多く大変好評であった。（障害者福祉施設サンアップル体育館への関心も高まった。）
  - ・中学校指導者や既存クラブとの連携は1回目と同様にすることができた。

#### 4 2年次の活動実績について

- (1) 2年次活動計画立案のための企画会議の開催（平成13年4月～）
  - ・事務局の設置→長野市赤沼 レストラン“グリーンボウ”内 担当滝澤
- (2) 日本体育協会説明、報告会への参加（平成13年5月21日）
- (3) 育成担当者会議、育成協議会の開催（平成13年7月～）
  - ①組織づくり
  - ②事業計画の作成
  - ③収支予算案の作成
  - ④広報活動など
- (4) 総合型地域スポーツクラブについての説明会の開催（第1回、第2回）
  - ・長野県教育委員会体育課より荒木指導主事を招いての講演会
  - ・既存のスポーツクラブ代表者に参加を呼びかける
- (5) 先進指定地域への視察（平成13年6月24日）
  - ・富山県福野町（文部科学省指定、平成8年度～）  
長野スポコミ東北育成協議会委員4名で視察
- (6) 日中スポーツ交流事業への派遣（平成13年8月5日～8月12日）
  - ・北京、大連などのスポーツクラブを視察（1名派遣）
- (7) 当クラブ視察の受け入れ及び資料提供
  - ・名古屋市議会議員30名視察（平成13年8月）
  - ・千葉県野田市体育指導員25名視察（平成13年11月）
  - ・神奈川県茅ヶ崎市スポーツ課へ資料提供（平成13年10月）
  - ・新潟県新潟市教育委員会生涯学習部へ資料提供（平成14年1月）
  - ・長野県南箕輪村立南箕輪中学校へ資料提供（平成14年1月）
  - ・長野県長野市立犀陵中学校へ資料提供（平成14年2月）
- (8) 研究大会及び研修会への参加
  - ・長野県体育センター「総合型地域スポーツクラブ研修会」講師レポート発表（平成13年6月）
  - ・長野県体育指導員研究大会へパネラーとして参加（平成13年11月）
  - ・長野県体育センター「総合型地域スポーツクラブ研修会」講師（平成13年12月）
- (9) 総合型地域スポーツクラブ育成研修会の開催（平成14年2月）
  - ・県体育課スポーツ振興係指導主事、市体育課係長、市体育課指導主事、信州大学生涯スポーツ課程講師、4名の講師の先生を招いての研修会を行った。
- (10) 定期的なスポーツ活動（平成13年7月14日～）
  - ・今年度より定期的なスポーツ活動を『スポコミランド』とネーミングし、「バスケットボール」「バレーボール」「バドミントン」「卓球」「ラージボール卓球」「バウンドテニス」「バドミントン」、スポットプログラムの「社交ダン

ス」

「ニュースポーツ」、計9種目で活動をスタートさせる。

※バドミントン、卓球、ラージボール卓球、バウンドテニスの4種目に関しては、域内で活動していた既存のスポーツクラブが当クラブに加入し、一緒に活動していくことになった。

- ・イベント活動に参加した参加者の声から、年度途中の10月より「シニアバスケットボール」、12月から「エアロビクス」の2種目を新たに新設した。
- ・各種目に毎回参加してくる固定客がおり、特に卓球やエアロビクスなどには、常時20名以上の参加者がいる。また、卓球では障害者の参加も多く幅広い交流となっている。

※別紙「スポコミランド」広報チラシ参照

(11) イベントの企画、開催

※別紙「東北スポーツウィーク」広報チラシ参照

○第3回東北スポーツウィーク [平成13年9月2日(日)～9月9日(日)]

実施種目→①バスケットボール男女、②バレーボール男女、③卓球男女、④剣道男女、⑤バドミントン男女、⑥バウンドテニス男女、⑦エアロビクス、⑧社交ダンス、⑨ニュースポーツ(スマイルボーリング、カローリング、ショートテニス、ボケネット、輪投げ、エアーボール)、⑩ストレッチ・マッサージ教室

参加者総数412名

- ・中学校の運動部部活指導者にも協力してもらって実施した。
  - ・みんなで、個人で楽しめるようなエアロビクスや社交ダンスは人気があり、大勢の参加者でにぎわった。
- ・逆に人数が少なくさみしい種目もあった。更に広報活動など工夫してやる必要があると感じた。

○第4回東北スポーツウィーク [平成13年12月2日(日)～12月9日(日)]

実施種目→①軽スポーツにチャレンジ、ニュースポーツを(ユニホック、キンボール、ショートテニス、ボケネット、スマイルボーリング、カローリング)  
②チャンバラ&剣道 ③ダンス・ダンス・ダンス(社交ダンス)  
④ピンポン&卓球男女 ⑤シニアでバスケットボールを  
⑥ラージボール卓球&卓球男女で  
⑦心も体もリフレッシュできます・ストレッチマッサージ教室  
⑧エアロビクスで爽やかに ⑨軽いタッチのソフトバレーボール  
⑩バスケットボールでゲーム、ゲーム、ゲーム  
⑪ラリーを楽しむバウンドテニス  
⑫スマッシュ決めてバドミントン  
⑬座ってシッティングバレーボール  
⑭体と骨の元気度チェック～自分の体力年齢・骨密度を知ろう～

参加者総数441名

- ・小中学校を通してのチラシ配布により、小学生の親子連れの参加者が多く見られた。
- ・少しでも関心を持ってもらおうということで各種目のネーミングを考えてみたが、効果があったように思われる。
- ・シッティングバレーボールでは、スポーツをテーマに据えて総合的な学習に取り組んでいる信大附属小学校の学級での参加があった。また、長野県障害者福祉施設(サンアップル体育館)を使って行ったが、障害者との有意義な交流の場にもなった。
- ・骨密度や体力測定にはかなり関心が高く、遠方からの参加者も何人かいた。今後、定期的にも実施していくことも考えていく必要がある気がした。

## 5 3年次の活動実績

- (1) 3年次活動計画立案のための企画会議の開催（平成14年4月～）
- ・事務局の移転→長野市立東北中学校内 担当：高池一昭  
長野市大町945 TEL026-296-5400  
026-296-9918
- \*長野市教育委員会より、東北中学校内の一室を事務局専用の部屋として認可を受ける。それに伴って専属の事務局員を置く。  
TEL026-296-9918 担当：藤牧敏子
- (2) 日本体育協会説明、報告会への参加（平成14年5月）
- (3) 育成担当者会議、育成協議会の開催（平成14年4月～）
- ①組織づくり
  - ②事業計画の作成
  - ③収支予算案の作成
  - ④クラブ会費徴収について
  - ⑤広報活動など
- (4) 平成14年度長野スポーツコミュニティクラブ東北総会の開催
- ・平成14年6月30日（日）於：東北中学校
- (5) 先進指定地域への視察（延期）
- ・愛知県半田市成岩町
- (6) 平成14年度日本体育協会公認スポーツ指導者海外派遣事業研修員に参加
- ・平成14年12月3日～平成15年2月28日
  - 研修地：ドイツ シュツウトガルト 水泳連盟
  - 研修員：山田美也
- (7) 当クラブ視察の受け入れ及び資料提供
- ・全国体育指導員連合機関誌「みんなのスポーツ」へ原稿提供（平成14年6月）
  - ・長野県社会体育指導者研修会視察（平成14年11月28日）
  - ・前橋市教育委員会視察（平成14年11月30日）
  - ・信州大学学生3名、早稲田大学学生1名、卒論取材（平成14年11月）
  - ・新潟県北蒲原郡安田町教育委員会視察（平成14年12月）
  - ・「スポーツジャスト」（スポーツ少年団と中学校の連携）へ原稿提供  
（平成15年1月）
  - ・栃木県足利市教育委員会市民スポーツ課視察（平成15年2月8日）
  - ・長野県教育委員会体育課「総合型地域スポーツクラブ啓発ビデオ」制作協力  
（平成15年3月）
- (8) 研究大会及び研修会への参加
- ・関東体育指導員研究協議会でレポート発表（平成14年6月7日）
  - ・長野県体育センター「総合型地域スポーツクラブ研修会」講師で参加  
（於：真田町 平成14年7月）
  - ・上小体育指導委員冬季研修会講師で参加（於：和田村 平成15年2月）
- (9) 総合型地域スポーツクラブ育成研修会の開催（平成14年2月）
- ・総合型地域スポーツクラブ研修会（平成14年6月6日 於：メトロポリタン）  
講師：野原浩昭（富山県広域スポーツセンター、スポーツ専門員）
  - ・長野市総合型地域スポーツクラブ講演会、説明会への参加  
（平成14年6月24日 於：長野市役所  
講師：丸山智之長野県体育センター専門主事）
- (10) 定期的なスポーツ活動（平成14年4月～）
- ・定期的なスポーツ活動『スポコミランド』
- ①バスケットボール
  - ②シニアバスケットボール
  - ③バレーボール
  - ④卓球
  - ⑤ラージボール卓球
  - ⑥バドミントン
  - ⑦バウンドテニス
  - ⑧エアロビクス

⑨軟式野球 ⑩ランニング教室 の計10種目で活動をスタートさせる。

※軟式野球、ランニング教室については、今年度より中学校部活動の指導者の協力により新しい講座として設定することができた。

※別紙「スポコミランド」広報チラシ参照

※11月より「ラージボール卓球」講座を閉講にする。

(11) イベントの企画、開催

※別紙「東北スポーツウィーク」広報チラシ参照

○第5回東北スポーツウィーク [平成14年9月1日(日)～9月8日(日)]

実施種目→①キンボール大会&軽スポーツにチャレンジ

②水中で楽しくウォーキング

③チャンバラ&剣道

④ラージボール卓球男女

⑤エアロビクスでさわやかに

⑥みんなで楽しむバスケットボール(一般～シニア対象)

⑦SHALL WE ダンス

⑧ラリーを楽しむバウンドテニス

⑨スマッシュ決めてバドミントン

⑩誰にでもわかるスポーツのケガと予防講座

⑪軽いタッチのソフトバレー&バレーボール

⑫みんなで楽しむバスケットボール、フリースロー大会、3ON3大会(小、中、高、一般対象)

⑬みんなで楽しむ野球教室

参加者総数 483名

○第6回東北スポーツウィーク「平成14年11月30日(土)～12月7日(土)」

実施種目→①軽いタッチのソフトバレー&バレーボール

②みんなで楽しむバスケットボール、フリースロー大会、3ON3大会(小、中、高、一般対象)

③冬場の野球トレーニング

④ラリーを楽しむバウンドテニス

⑤スマッシュ決めてバドミントン

⑥楽しくわかる体力チェック

⑦ストレッチ、マッサージ教室

⑧アクアウォーキング

⑨ピンポン&卓球

⑩チャンバラ&剣道

⑪エアロビクスでさわやかに

⑫みんなで楽しむバスケットボール(一般～シニア対象)

⑬SHALL WE ダンス

⑭楽しいリズム縄跳び

⑮キンボール大会&軽スポーツにチャレンジ

⑯よくわかる陸上教室

参加者総数 512名

(12) クラブ会費及び会員数(会費の徴収を今年度から実施)

【クラブ会費】

【会員数】

・ファミリー会員	一世帯	年間	4,000円	22世帯
・一般会員	一人	年間	3,000円	56人

・小中高生会員 一人 年間 1,000円 229人

## 6 4年次の活動実績

- (1) 4年次活動計画立案のための企画会議の開催（平成15年4月～）
- (2) 日本体育協会説明、報告会への参加（平成15年5月）
- (3) 育成担当者会議、育成協議会の開催（平成15年4月～）
  - ①組織づくり
  - ②事業計画の作成
  - ③収支予算案の作成
  - ④クラブ会費徴収について
  - ⑤広報活動など
- (4) 平成15年度長野スポーツコミュニティクラブ東北総会の開催
  - ・平成15年5月11日（日）於：東北中学校
- (5) 先進指定地域への視察（延期）
  - ・愛知県半田市成岩町
  - 長野スポコミ東北育成協議会委員 名で視察予定
- (6) 平成15年日中スポーツ交流事業への派遣（平成15年11月27日～一週間）
  - ・北京、大連などのスポーツクラブを視察（1名派遣：藤牧敏子）
- (7) 当クラブ視察の受け入れ及び資料提供
  - ・東京都教育委員会視察（平成15年7月30日）
  - ・東京都国分寺市教育委員会視察（平成15年10月）
  - ・順天堂大学学生1名、卒論取材（平成15年10月）
  - ・「スポーツジャスト」（スポコミ東北紹介）へ原稿提供（平成15年9月）
  - ・埼玉県三好町教育委員会へ資料提供（平成15年7月）
    - ・ABN「インフォ信州」TV取材協力（平成15年10月）
- (8) 研究大会及び研修会への参加
  - ・上田教育事務所「学舎融合フォーラム」講師で参加  
（於：上田市 平成15年7月）
  - ・長野県体育センター「総合型地域スポーツクラブ研修会」講師で参加  
（於：長野県体育センターアルウィン 平成15年8月）
  - ・公認スポーツ指導者全国研修会研修報告及びシンポジストとして参加  
（於：東京都ホテル海洋 平成15年12月）
- (9) 総合型地域スポーツクラブ育成研修会の開催（平成14年2月）
- (10) 定期的なスポーツ活動（平成15年4月～）
  - ・定期的なスポーツ活動『スポコミランド』
    - ①バスケットボール
    - ②シニアバスケットボール
    - ③バレーボール
    - ④卓球
    - ⑤バドミントン
    - ⑥バウンドテニス
    - ⑦エアロビクス
    - ⑧軟式野球
    - ⑨陸上競技教室の計9種目で活動をスタートさせる。  
※5月より⑩楽しいウォーキング教室を親切
- (11) イベントの企画、開催
  - 第7回東北スポーツウィーク [平成15年8月30日（土）～9月7日（日）]  
実施種目→①スペシャル企画：オリンピック選手「野口京子さんとバレー&ソフトバレーを楽しもう」
  - ②ラリーを楽しむバウンドテニス
  - ③チャンバラ&剣道
  - ④野球トレーニング教室
  - ⑤スマッシュ決めてバドミントン
  - ⑥楽しいウォーキング
  - ⑦SHALL WE ダンス

- ⑧エアロビクスでさわやかに
- ⑨みんなで楽しむバスケットボール（一般～シニア対象）
- ⑩サッカー教室「目指せJリーガー」
- ⑪みんなで楽しむバスケットボール、フリースロー大会、3ON3大会（小、中、高、一般対象）
- ⑫小中学生陸上記録会

参加者総数 515名

○第8回東北スポーツウィーク「平成15年11月29日（土）～12月6日（土）」

実施種目→①みんなで楽しむバスケットボール（小、中、高、一般対象）

- ②楽しい陸上教室
- ③野球トレーニング教室
- ④ラリーを楽しむバウンドテニス
- ⑤スマッシュ決めてバドミントン
- ⑥ほかほかウォーキング
- ⑦ストレッチ、マッサージ教室&ニュースポーツ体験教室
- ⑧サッカー教室「目指せJリーガー」
- ⑨ピンポン&卓球男女
- ⑩剣道
- ⑪エアロビクスでさわやかに
- ⑫みんなで楽しむバスケットボール（一般～シニア対象）
- ⑬SHALL WE ダンス
- ⑭ソフトバレー&バレーボールを楽しもう

参加者総数 456名

○スペシャル企画イベント第1弾

「爽やかウォーキングセミナー」：平成15年7月13日（日）長沼体育館  
講師：酒井浩文さん（ソウルオリンピック日本代表選手）

参加者総数 185名

○スペシャル企画イベント第2弾

「ランニングWith谷川真理」：子どもの体力向上キャンペーン（文科省・日体協）

平成15年11月23日（日）13：30～

長野県障害者福祉施設サンアップル体育館及びトラック

参加者数 155名

(12) クラブ会費及び会員数（会費の徴収を実施）

			【クラブ会費】	【会員数】
・ファミリー会員	一世帯	年間	4,000円	22世帯
・一般会員	一人	年間	3,000円	56人
・小中高生会員	一人	年間	1,000円	229人

## 6 5年次の活動実績

- (1) 5年次活動計画立案のための企画会議の開催（平成16年4月～）
- (2) 日本体育協会説明、報告会への参加（平成16年5月）
- (3) 育成担当者会議、育成協議会の開催（平成16年4月～）

- ①組織づくり
- ②事業計画の作成
- ③収支予算案の作成
- ④クラブ会費徴収について

⑤広報活動など

- (4) 平成16年度長野スポーツコミュニティクラブ東北総会の開催  
・平成16年5月22日(土) 於: 東北中学校
- (5) 先進指定地域への視察(中止)
- (6) 当クラブ視察の受け入れ及び資料提供  
・東京都教育委員会(福澤氏, 瀬尾氏) 来訪(平成16年9月)  
・長野県広域スポーツセンター視察(平成16年10月14日)  
・筑波大, 千葉大学生2名, 卒論取材(平成16年1月)  
・デフリンピックバスケット日本代表の手塚君にTV取材(平成16年10月)  
・埼玉県大利根町教育委員会視察(平成15年3月)
- (7) 研究大会及び研修会への参加  
・長野県スポーツ少年団40周年記念式典講演に講師で参加  
(於: ホテル国際21 平成16年11月19日)  
・長野県体育センター「総合型地域スポーツクラブ連絡協議会」参加  
(於: 長野県体育センターアルウィン 平成16年6月, 10月, 1月)  
・山田美也さんドイツ: ユーロシティーマラソン参加参加  
(於: ドイツ 平成16年11月)
- (9) 総合型地域スポーツクラブ育成研修会の開催(平成16年3月)
- (10) 定期的なスポーツ活動(平成16年4月~)  
・定期的なスポーツ活動『スポコミランド』  
①バスケットボール ②シニアバスケットボール ③バレーボール ④卓球  
⑤バドミントン ⑥バウンドテニス ⑦エアロビクス  
⑧軟式野球 ⑨陸上競技教室 ⑩楽しいウォーキング教室  
の計10種目で活動をスタートさせる。  
※2月より参加者の多いシニアバスケットを2講座に分けて実施。  
「オールエイジ」(木曜日) 「シニア」(月曜日)

(11) イベントの企画、開催

○第9回東北スポーツウィーク [平成16年4月17日(土)~4月24日(土)]

実施種目→①バレー&ソフトバレーを楽しもう

②ラリーを楽しむバウンドテニス

③剣道

④野球トレーニング教室

⑤スマッシュ決めてバドミントン

⑥夜桜ウォーキング

⑦SHALL WE ダンス

⑧エアロビクスでさわやかに

⑨みんなで楽しむバスケットボール(一般~シニア対象)

⑩サッカー教室「気分はJリーガー」

⑪みんなで楽しむバスケットボール(小、中、高、一般対象)

⑫楽しい陸上競技教室

⑬ピンポン&卓球

⑭スポコミ会員&地域の皆さんで手軽にスポーツを

参加者総数 557名

○第10回東北スポーツウィーク「平成16年11月27日(土)~12月4日(土)」

実施種目→①みんなで楽しむバスケットボール(小、中、高、一般対象)

②楽しい陸上教室

③野球トレーニング教室

④ラリーを楽しむバウンドテニス

⑤スマッシュ決めてバドミントン

- ⑥ほかほかウォーキング&ストレッチ
- ⑦はつらつ健康チェック
- ⑧目指せJリーガー「望月豊仁さん（元日本代表）のサッカー教室」
- ⑨ピンポン&卓球男女
- ⑩剣道
- ⑪エアロビクスでさわやかに
- ⑫みんなで楽しむバスケットボール（一般～シニア対象）
- ⑬SHALL WE ダンス
- ⑭ソフトバレー&バレーボールを楽しもう
- ⑮ミニミニ駅伝（小中学生対象）

参加者総数 722名

#### ○スペシャル企画イベント第3弾

目指せJリーガー「望月豊仁さん（元日本代表）のサッカー教室」  
 子どもの体力向上キャンペーン（文科省・日体協）  
 平成16年12月4日（土）東北中学校グラウンド  
 講師：望月豊仁さん（元サッカー日本代表選手）  
 参加者総数 175名（含保護者）

#### ○スペシャル企画イベント第4弾

「古武術でカラダ革命」クリニック  
 平成16年12月18日（土）14：30～  
 12月19日（日）9：30～  
 国立長野高専体育館及び教室  
 講師：甲野善紀氏（古武術研究家）  
 入江史郎氏（防衛大学バスケットボール部ヘッドコーチ）  
 高橋桂三氏（筑波大学大学院博士課程）  
 参加者数 322名

## 7 その他、今後の課題

### （1）地域指導者の発掘、連携

- ・「体育（教育の一環、教えられるもの、無料あるいは低料金で与えられるもの）」から「スポーツ（健康や楽しみも含めた多様な活動）」へ、「チャンピオン志向」と「楽しさ志向」の共存、「健康への投資」など、スポーツに関する意識改革を説明会等開催する中で理解を求め、地域の方々の参加者を増やしていきたいと考える。

### （2）地域の既存スポーツクラブとの連携、協力

- ・他のスポーツクラブの責任者との連絡を密にし、仲間意識を深めていくことが大切であると考え。多項目交流をいろいろな場面で企画して実施したい。

### （3）小、中学校との連携、協力

- ・育成協議会のメンバーに小、中学校の先生がいることから、小中学生へも声をかけながら参加を促し、スポーツの楽しさ意識の変革を更に進めていきたい。
- ・土曜日、日曜日の中学校部活の受け皿として、連携していくことを大事に考えていきたい。
- ・施設の面では全面的に開放してもらっているので、これからも継続して協力してもらえるようにしていきたい。

(4) 長野県障害者福祉施設との連携、協力

- ・素晴らしい県の福祉施設が身近にある。有効的な活用方法を考えたいが、多方面での活用目的があるために、優先的な活用はなかなか図れない。連絡を取り合いながら、活動実績を残し、有効的な活用を図りたい。

(5) NPOへの申請検討

- ・スポコミ東北の終局の運営システムとしてNPO活動を視野に入れて活動していきたい。スポーツに限らず、地域の伝統文化の継承や公民館、育成会などの地域行事との連携を模索しながら、活動の企画者や参加者がそれぞれに楽しめる活動を目指したい。

(6) 財源の確保について

①長野市スポーツ振興基金（3億円）、指針づくりについて

- ・市教委の構想では「指針を基に、市民がいつでも、どこでもスポーツに親しめる環境を整備したい」「地区単位で総合型スポーツクラブを設け、定期的に各年齢層が参加できるスポーツ教室や大会などを企画したい」などと打ち出し、市スポーツ振興基金（3億円）の活用方法を探るとしている。

②スポーツ振興くじ（toto）助成金交付への申請

- ・来年度も、totoのスポーツ支援事業に申請しているが、今後も実績を残しながら継続事業が受けられるようにしていきたい。  
（年間100万円の助成金。内20万円は当該クラブ負担）。

③スポンサー探し

- ・この事業は今後も注目されると思われるので、こちらから積極的に行政や地元企業に売り込み、スポンサーとしてのメリットを強調していきたい。  
\*上記について、財源とできるかを検討したい。

(7) 効果的な広報活動の展開

- ・総合型地域スポーツクラブに関しては、マスメディアを通して最近かなり取り上げられ、話題にされるようになってきている。私たちスポコミ東北の活動を理解してもらうためにも、今後も積極的に広報活動をしていく必要があると考える。

\*TV、ラジオ、新聞、タウン誌などでの広報活動の展開

スポコミ東北のホームページの作成

地域へのチラシ配布・ポスター掲示、公民館報、回覧板

名刺の作成

ティッシュ作戦、横断幕作戦の展開

(8) 参加者のニーズに応えられるような活動内容、指導過程の検討、マニュアル作り

- ・3年間にわたって行ってきた定期活動（10種目）や6回の東北スポーツウィークの様子から、参加者の技能的なレベルや参加の動機は様々であることがわかった。限られた場所や時間の中で参加全員が満足できるような、具体的な活動内容を更に研究していかなければならないと考える。